

樹脂バンパー補修事例の紹介(その1)

樹脂バンパーの補修技法は、日々進化しています。特に自費修理には多様なメニューが求められています。今回はあいおいニッセイ同和自動車研究所のバンパー補修セミナーで行っている、樹脂バンパー補修事例を紹介します。

裂け傷のある樹脂バンパーの補修

バンパーの裂け傷の補修方法には、接着や溶着などがありますが、今回、プラグピンを使用して補修を行いました。

裂傷部状態(バンパー表面)



裂傷部状態(バンパー裏面)

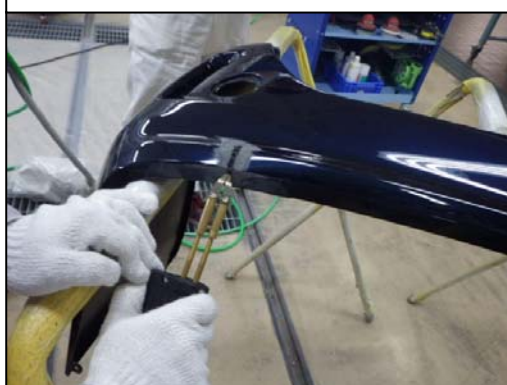


ウエルダー



裂損部補修の強度を保つために、ウエルダーを使用して、プラグピンを裏面から埋め込み補強します。表面はコテを使用して樹脂を溶し込みながら溶接します。バンパー部材が足りないときは、不要バンパーなどを利用して余盛します。
※ウエルダーとピンはヘッドランプブラケットの補修にも使用できます。

表面はコテで溶接



裏面はプラグピンで補強



不要バンパーを利用して余盛



溶接部の研磨



樹脂パテ



溶接部の余盛部分を残さないように研磨し、フェザーエッジング後にPPプライマー塗布を行います。樹脂パテにて成型・研磨後プラサフ塗布します。
今回はプラサフ研磨にて作業終了していますが、その後上塗りを行い完成となります。

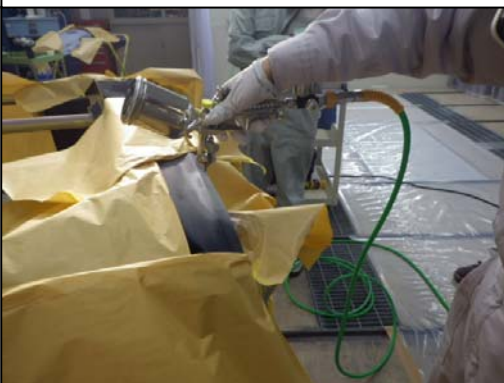
樹脂パテ塗布



樹脂パテ研磨



プラサフ塗布



プラサフ研磨



終わりに

裂損した部位はプラグピンにて強度は保たれていました。樹脂バンパー補修の参考になれば幸いです。また、当自動車研究所ではバンパー補修ステップアップコースで研修を行っていますので、是非受講してください。